

# 保存会だより

発行  
徳高人形・  
御船祭保存会

## 国指定無形民俗文化財への第二歩

平成二十九年一月二十七日文化審議会は消滅の恐れから記録などの措置を講ずるべき無形民俗文化財に安曇野市・松本市・池田町で行われている「安曇平のお船祭り」を選択するように文科大臣に答申を行い、三月三日付け決定がされた。

安曇野市は教育委員会が本年度より三年を掛けて各地区で実施されている穂高型お船祭りの詳細調査を行うように「安曇平のお船祭り」調査委員会会長石田益雄を立ち上げ調査を進めることとなった。

本年度はこれのお船祭りの中心となる穂高神社例祭御船祭調査を行い平林佳樹前会長、勝野正道会長へ当会の御船祭への対応や活動の聞き取り、各区の御船の作り方や寸法どりなどが行われた。

当会としては悲願である国の無形民俗文化財指定への第一歩を記す事が出来た。

## 新会長決まる

五月二十日二十九年度総会が開催され新役員が選出承認され、三期六年会長を勤めて頂いた平林佳樹さん(穂高区)より勝野正道新会長(等々力町区)へとバトンが引き継がれた。

副会長 浅川修二(等々力区)

## 「会長就任あいさつ」

同 小林千尋(穂高町区)  
同 窪田征二(穂高区)

勝野 正道

本年五月二十日の穂高人形・御船祭保存会総会において第四代会長に選任されました。

平成十一年の設立以降、三人の会長さん(故清澤久・高橋歳秀・平林佳樹)はじめ三教室の皆さま、氏子総代、氏子四区の役員の皆さま、神社関係者の皆さまのご尽力により会員数は当初の四百人余りから本年は千百人を超えております。

穂高人形お船祭りの習俗は平成二十一年に長野県の無形民俗文化財に指定され、更に本年三月には国の重要無形民俗文化財の選択(記録作成等の措置を講ずべき重要な文化財)に選ばれ、市の「安曇平のお船祭り調査委員会」の調査が開始されました。

穂高人形制作を担う三教室の皆さまの絶えざる努力を支え、貴重な伝統文化を末永く継承していくために地域の皆さまの益々の応援を宜しくお願い致します。

## 第十四回研修旅行

### 直虎の舞台を訪ねて

人形飾り物の知識を広める目的で名所旧跡を訪ねる研修旅行が梅雨明けの猛暑の中七月二十日三十名の参加にて行われた。今回は隣県である静岡県浜松市が舞台の中心となっているNHK大河ドラマ「おんな城主直虎」のドラマ館や井伊家縁の地を訪ねる旅である。

朝六時四十五分に出発したバスは中央道で静岡に向い、車中では参加者中山隆さんよりドラマで放送されている内容に基づき井伊直虎や井伊家について説明がなされ今日一日の見

学の楽しみが加えられた。

先ずはおんな城主直虎大河ドラマ館を見学した。館内にはドラマのキーワードとなる井伊谷「橘の木」や「井戸」が有り、井戸を覗くと映像が映るなど他にも多くの映像を見る事が出来た。奥に進むと出演者の衣装が展示されており出演者の立場により美しい物からわざと汚れている風に加工作された物等ドラマの演出に感心をした。

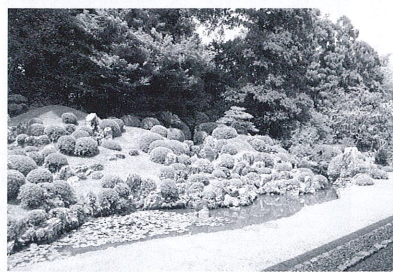
また、VR体験コーナーではヘッドセットを装着するとまるでスタジオセットの空間の中にいるような気分になる仕掛けが有り最先端の技術を体験する事が出来た。

しかし、「昨年の真田丸ドラマ館に比べると規模が小さいや。」との声も参加者から聞こえた。

ドラマ館を後にして隣接する復元された気賀関所を見学して、参加者の中には遠見番所に登る人など時間を過ごした。

昼食は浜松と言えはうなぎ、名物のうなぎを頂き午後の見学への活力を付けた。

次は遠州の古刹であり井伊家ゆかりの龍潭寺を参拝拝観した。木々に囲まれ手入れの行き届いた境内を進み、本堂内に入るとうぐいす張りの廊下を進み遠州最大の大仏や釈迦三尊を参拝し井伊家の御位牌を祀る御霊屋などを拝み、この寺で一番の見どころと言われる小堀遠州作の国指定名勝庭園を拝観した。左右に仁王石を配した庭園で高さを生かし奥行きを見せるなど見ごたえのある庭園で皆廊下に座り見入っていた。



外に回り井伊家歴代墓所にお参りし、井伊家とも縁深い南北朝時代に関東各地を転戦した宗良親王を祀る井伊谷宮を参

拝した。

帰路の車中では会員の若宮昭三さんより参拝した龍潭寺やドラマロケにも使われた近くの方広寺の説明や仏教についての話を頂き無事に穂高へと帰って来た。

参加者からは「龍潭寺で井伊家の御位牌等東京の展示で無く物足りなかつた。」等の意見が聞かれた。今後も会として飾り物展示の参考となる充実した研修旅行を計画してまいります。

## 若年層人形講座

小学生を対象とした穂高人形制作講座が等々力町区、穂高町区、穂高区それぞれで開催され子供たちが地元传统文化に触れる一時を楽しんだ。

等々力町区では鎧兜、着物、刀など説明を受け人形への鎧、着物などの飾り付けを行った。子供達は牛流教室指導者の手ほどきを受け徐々に着付けを行い、その後には体格の合う子は鎧を着て刀を持ちポーズを取り目を輝かせていた。

穂高区田中公民館では保尊教室による縮め太鼓作りが行われ、事前に用意をした圧縮紙を紐で編み組み立て各自鼓面に色とりどりに色彩を施した。子供達は「編むところが難しかった。」色を塗るところがはじめは上手く出来なかつたが終わりは上手く出来た。」など話していた。

また「子供達が時間内に物が作れるように下準備が大変だ。」と言った教室の人の声があった。

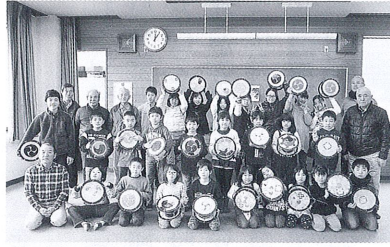
穂高町区では小平教室による鎧作りの指導が行われ、色の



付いた紙に色とりどりの毛糸を通して行く作業で子供からは「最初は難しかったがだんだん楽しくなった。」「やっているうちに夢中になった。」との話が有った。

長年続けてきた若年層講座は講座時間内に行う内容や制作する物に限界が有るなど問題も生じており、講座の在り方や地区の方と今後検討して行きたい。

担当	日時	会場	参加者人数
牛流教室	平28・12・17	等々力町区公民館	67人
保尊教室	平29・1・8	穂高区田中公民館	30人
小平教室	平29・8・19	穂高町区公民館	9人



### 穂高南小・穂高駅に飾り物行われる

子供達への穂高人形の伝統文化意識付けに毎年行っている穂高南小学校への飾り物が入学式前の三月二十二日「小島高徳と十字の詩」の場面が本年は牛流教室により飾られた。学校玄関に飾られた場面を見た校長先生に代表の竹内敏夫さんが場面内容と子供の頃に習った歌を歌い、それを聞いた先生は「この話や歌は知らなかった。」と話され感心して見入って

いた。

安曇野穂高の観光の玄関である穂高駅改札横に夏のシーズンを迎える前の六月十八日人形飾り物が小平教室により飾り替えられた。本年は大河ドラマにちなみ井伊直虎が馬に乗りお伴を従えた領内巡視の場が飾られ、多くの観光客を迎える事となった。



### 賑やかに飾られた文化祭展示

当会の第八回穂高文化協会穂高文化祭展示が穂高神社南神苑にて十一月一日〜十二日の期間展示された。

十月は雨の日が多く天候を心配していたが、やはり台風二二号の影響により二十八日の飾り付け初日は、天幕を張り終えた午後には降り出した雨によって準備は非常に慌ただしく大変であった。

一日の開会式では勝野会長より展示作品の制作へのお礼が述べられ、穂高神社穂高宮司からは「教室後継者の人々が先生の技をしつかり受け継いでいる。」と言葉を頂いた。

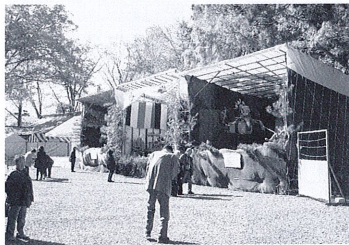
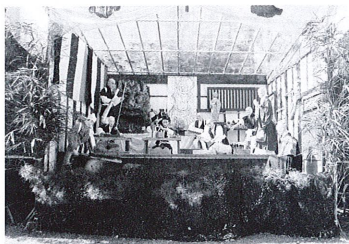
場面説明では小平教室「織田信長京都で馬揃え」は藤原國廣さんより「来年の大河ドラマの場面を作ろう」と話し合いをしたが、良い場面が浮かばず馬揃えの場にした。馬は全て今

回の展示の為に制作した。」と述べた。  
 保尊教室「慶派一門東大寺南大門の仁王像を造る」は立体的に飾られ、寄木造りで造られた制作中の像まで細かく再現されていた。

牛流教室「木村重成の初陣」は「鎧の全ては教室で作った。馬上より槍を出す木村重成に討たれる武者の配置は全体を上手く見せるため皆で考えた。」と竹内敏夫さんは述べた。

展示期間中は新そばと食の感謝祭が境内で行われ多くの人が展示を見たり、七五三参りの子供さんが展示前で写真を撮るなどしていた。

また「見事に飾られているね。」や「この展示は年中行っているのですか。」と聞く人がおり今だけだと伝えると「いい時に来たな。」と喜ぶ県外からの参拝者もいた。



子供祭・例祭賑やかに齋行される

本年の子供祭九月九・十日、例祭九月二十六・二十七日にそ

れぞれ齋行された。

本年の例祭には平日にも拘わらず多くの参拝者が訪れ、中でも埼玉県の神社総代がバス一台にて御船祭を見るために来られるなど境内は賑やかであった。

子供祭

- ・等々力町区 子供船 「血戦 川中島」
- ・穂高町区 子供船 「山内一豊 織田信長の命を救う」
- ・穂高区 子供船 「養老の滝 美酒となった滝の水」

例祭

- ・等々力町区 子供船 「斉藤実盛 髪を染めて散る」
- ・穂高町区 子供船 「井伊直政の初陣」
- ・穂高区 子供船 「沢庵漬けの始まり」
- ・両町 大人船 「大坂血戦 天王寺口の攻防」
- ・穂高区 大人船 「安倍晴明に正体を暴かれた 九尾の狐」

着物御寄進御礼

人形や御船の飾り物に必要な着物類の寄付をお寄せいただき、心より御礼申し上げます。

今回は昨年文化祭展示をご覧になりわざわざ蚊帳をお送りいただいた方もおられ、着物・蚊帳を計十六点頂き誠に有難うございます。今後有効に使用させて頂きます。

寄付者名は左記の通り。(順不同)

- ・横浜市 後藤佳子様
- ・安曇野市 匿名様
- 同 匿名様

着物類についての寄付は引き続き事務局穂高神社社務所にて受け付けておりますので、宜しくお願い致します。